

令和6年度 施設関係者評価 報告書

園名		園長名	実施日		
社会福祉法人 照治福祉会 阿武山たつの子認定こども園		大谷 たえ子	令和7年3月13日		
評価の記録					
		評価者A	評価者B	評価者C	評価者D
保育の様子を見て	良い点		しなければならぬ枠（今日であれば「卒園式の練習を大人しく見る」など）を作るのではなく、それぞれの興味関心を促すような働きかけを先生方がされていた。外部の人がいてもその姿が自然にあることが嬉しい。	子どもたち最優先。いつもニコニコしておられる先生方。叱る場面は保護者として見る事はなく、どのような指導がされているのか不明であったが、しっかりと子どもたちの事を考えわかりやすい説明・指導の姿に安堵した。	
	改善点		今のままで充分だと思うが、もし見学している子どもたちの関心を長く維持する工夫をすると、簡単なプログラムなどが見えるところに提示されていると見通しがもちやすいかもしれない。		
	更に期待する点	じっとしていない子どもの対応には先生方も大変なことと思いますが、よろしく願いします。命の活動については素晴らしいと思いますので、これからも続けて下さい。			
自己評価の説明を受けて	良い点	週休二日制は是非しっかり進めて下さい。できれば三日制の可能性も含めて。	「対話」を大事にする保育を実践するために職員同士での対話の場を作られていることが役に立っていると感じた。大人も子どもも、言葉にできない人も、お互いに交流できることは大事	対話の時間。リーダー・チームの先生との時間。新人先生の時間。思いはそれぞれちがう中で同僚・同期と対話ができる。人間関係の構築を大切にされている。	
	改善点		先生方が「もっと学びたい」と考えておられることが伝わってきました。週休二日制はもちろん、学びの場も充実していくことを願います。		
	更に期待する点	小中学校の先生の園訪問は是非これからも進めて下さい。			
その他感想等					
評価を受けて	今回は日程が学校の卒業式間近ということもあり、参加者が少なかった。次年度は日程について改めたい。子どもたちの対話を大切にしていることだけでなく、職員同士の対話の場を設けていることにも評価をいただいたことがとてもありがたい。また職員の処遇（完全週休二日制度や学びの機会）についても、出来ることを増やしながらか引き続き改善に取り組んでいきたい。				